

## ホームページアクセス記録

濱谷修一

広島市植物公園では、インターネットの普及に伴い、より柔軟な広報活動を行なうための手段のひとつとして、平成13年3月にホームページを開設した。

経緯、運営方法などについては当園栽培記録第24号(平成15年)に記したとおりであるが、その後のアクセス件数の推移について記録しておく。

表. 当園のホームページアクセス件数

	単年度(件)	累計(件)
平成13年 3月～12月	7421	7421
平成14年 1月～12月	19815	27236
平成15年 1月～12月	33126	60362

累計は開始時(平成13年3月から当該年の12月末日までのアクセス件数)

平成15年1月から12月の間のアクセス件数は33126件で、平成14年1月から12月の間の1.67倍となった。インターネット利用者が増加した事に加え、当園のホームページがより広く知られ、情報源の一つとして多くの方に使われるようになってきていることがわかる。

アクセス件数を月別に見ると、春、秋に件数が多くなっており、月別入園者数と似た傾向を示す。しかし、そ

の変動割合は入園者数の季節変動と比べ、ホームページのアクセス件数ははるかに小さい。多い月を少ない月で割ると、来園者数では8～9倍となるのに対し、アクセス件数では約3倍である。このことから、

- ①春、秋はホームページを見ずに来園する方が非常に多い
- ②ホームページを閲覧する方は、一年を通じて安定してアクセスしていることがわかる。

すなわち、ホームページを閲覧する方は、夏、冬にもかなりの数いるということなので、ホームページ上で魅力的なPRをおこなうことにより、現在閑散期となっている夏、冬の入園者数を増加させることができるかもしれない。

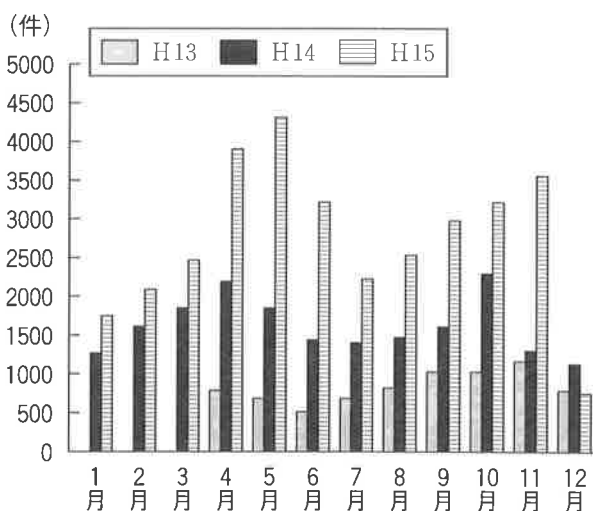


図. ホームページのアクセス件数

## 平成14年度園芸相談集計記録

平成14年4月から平成15年3月にかけてあった、植物に関する相談の受付記録を示す。受付件数は4,167件で、その内容を表1～3と図1～4に示した。

月別相談件数は、例年どおり春と秋に集中した(図1)。その約80%が電話によるものであったが、本年は手紙やファックスのほか、テレビ局などマスコミからの電子メールによる相談が微増した(ただし、現在のところ、電子メールによる相談は原則として受け付けていない)。「その他」には関係機関のイベントでの出張園芸相談の件数を記した(図2)。

植物別に見ると、昨年に引き続き、屋外の植物(草花、花木、庭木、果樹、ハーブ・野菜、山野草)に関する相談が約75%を占めた(図3)。庭木の相談が6ポイント増

加した。作業別割合では、例年どおり管理に関する相談が多かった(図4)。また、平成14年度は平成13年度と同様に夏場の乾燥が著しく、庭木などでは早期落葉など乾燥や高温による被害と思われる相談が多かった。

(富澤まり 記)